

常任委員会

公共施設マネジメント特別委員会

◆特別委員会から市へ意見書を提出するための協議を委員間で行いました。

◇12月26日（第7回）

・意見書（素案）について

◇1月13日（第8回）

・意見書（案）について

◇1月26日（第9回）

・意見書（案）の最終確認

★2月14日に「公共施設マネジメントに関する意見書」を議長、市長に提出しました。

現時点において考えられる課題と今後の方向性についてまとめた意見書を市長に提出しました。

【意見書の主な内容】

- ①公共施設、インフラマネジメント計画の作成
- ②施設カルテ（修繕履歴、詳細情報など）の作成
- ③マニュアルに基づいた定期点検
- ④公共施設マネジメントを推進するための組織の設置
- ⑤県や近隣市町との情報共有、広域連携
- ⑥財政負担の平準化
- ⑦市民等との情報共有

農業活性化特別委員会

◆茶業に関わる各分野の皆さまとの意見交換を行うとともに、特別委員会から市へ意見書を提出するための協議を委員間で行いました。

◇12月27日（第6回）（流通分野：近隣茶商）

<テーマ>

- ・袋井茶業の現状と課題について
- ・県全体の茶業の問題と解決策について
- ・各産地の茶振興に対する取組について
- ・茶の海外輸出に対する取組について

◇1月16日（第7回）（生産分野：袋井茶業青年部）

<テーマ>

- ・袋井茶業の現状と課題について
- ・茶業として生き残るための取組について
- ・後継者としての今後の茶業経営について

◇1月27日（第8回）（販売分野：市内外販売店）

<テーマ>

- ・袋井茶業の現状と課題について
- ・販売店から見た茶商品の普及、課題について
- ・消費者が求めるお茶について

◇2月8日（第9回）

・意見書（案）について

★2月15日に「農業活性化に関する意見書」を議長、市長に提出しました。

建設経済委員会

■平成29年度一般会計予算 ～住宅総務費～

Q 空き家対策事業について、高南地区をモデル地区として選んだ理由と、事業の組み立ては。

A 市内に約800戸の空き家があり、高南地区は高齢化による空き家の割合が高い。あわせて、地域コミュニティの機能低下や、自治会活動の担い手減少などの課題が解決できるきっかけとなるよう、学生シェアハウスの実現に向け事業を展開する。事業の組み立ては、自治会や空き家の所有者、学生だけではなく、大学、不動産業者、建築工務店などの理解と協力を得ていく。学生シェアハウスは寄宿舎となるため一般住宅と異なる構造基準が定められていることや、資金の確保など様々な課題があるが、先進事例を参考に、アドバイザー委員会で検討していく。

■平成29年度一般会計予算 ～緑化推進費～

Q 原野谷川にぎわい創出事業の範囲と植栽のイメージはどのようなものか。

A 睦美橋から上流に約1.2kmの範囲で、原野谷川沿いに歩いてみたくなる水辺空間の創出を行う。現在、地域によって植えられているコスモスやガザニアを活かした植栽となるよう、ワークショップを進めていく。



原野谷川の水辺空間